

■ しっかり聞こう

【ねらいとする能力】

・ 自己への気づき ・ 他者への気づき ・ 対人関係

目的

相手の話の内容を理解するための正しい聞き方（姿勢、視線、態度）を知り、家庭での指導に活かせるようにする。

○準備物

なし

○ワークショップ概略

- (1) ペアになり、話し手の話を正しい聞き方で聞く。
- (2) 正しい聞くためのポイントを話し合い、感想や気づきを共有する。
- (3) 相手の話の内容を理解するための「正しい聞き方のポイント」を知る。
*正しい聞き方のポイント…「①うなづく、②目を見る、③体を向ける、④最後まで聞く」

○ワークショップの流れ

場面	教師の指示(★)と保護者の反応・行動(△)	留意点
説明	(場合によっては、事前に雰囲気作りをする。) ★ 今日は、正しい聞き方について学習しました。話の内容を理解しながら聞くのは難しいです。では正しい聞き方をみなさんも体験してみましょう。	
活動	★ ペアになって話し手と聞き手を決めてください。話し手は、最近の楽しかった話やテレビの話、休みの過ごし方など好きな話をしてください。聞き手は、話し手が気持ちよく話せるように聞いてください。話す時間は3分です。それでは、はじめます。 △ ペアで話をする。 ★ 話をしてどうでしたか？ △ 体を向けてくれるので話しやすかった/最後まで聞いてくれてうれしかった。 ★ とても素晴らしかったです。〇〇さんは笑顔で話を聞いていてよかったと思います。では、気持ちよく話をしてもらうためにどういうことに注意をしましたか？また、どのように聞いてもらうと気持ちよく話ぐできましたか？ △ 相手の目を見る/うなづく/あいづちをうつ。 ★ 今挙げられたことは全て大切なことです。子どもには「正しい聞き方のポイント」として4点を挙げました。ポイントを確認します。 *正しい聞き方のポイント…『正しい聞き方、“ウメ”の“かさ”』 ①うなづく、②目(め)を見る、③体(からだ)を向ける、④最後(さいご)まで聞く ★ お子さんはこれらのポイントが使えているでしょうか。学校でも聞き方について指導していきますが、ご家庭でもよろしくお願いします。	役割を交代して、ロールプレイを繰り返す。
まとめ	★ 今日は、正しい聞き方について学習しました。家庭では、保護者のみなさんが話をする時、お子さんがテレビを見ながら話を聞いていたりすることがあるかもしれません。そんな時は、お子さんに「ウメのかさ」のことを思い出させてください。また、お子さんが話をしっかり聞いてくれた時は、たくさんほめてあげてください。	

ワークショップをするにあたって

話の聞き方は、家庭で指導している保護者も多いであろう。時間がある場合は、話の聞き方に関する家庭での悩みや家庭での活かし方などを話し合って共有することもできる。

また、保護者に「正しい聞き方のポイント」のポスターを配り、家庭で活用してもらうこともできる。